



令和7年度 坂井市立丸岡南中学校スクールプラン

校訓 高々と 理想や目標を高々と掲げ主体的に学ぶ生徒
 悠々と 豊かな心とたくましい足取りで悠々と自己を確立する生徒
 共に 自然の恵みや自分に関わる人々に感謝し共に生きてゆく、優しさに秀でた生徒

教育目標 信頼を重んじ、感謝と自主・自立の精神を育てる

研究主題 共に学び合い、高め合う学校文化の創造 ～多様な考えによる協働的な学び～

本校の特色

■教科センター方式	■スクエア制	■自主研究・ 教職大学院拠点校	■学習ナビと通知表	■学びのフィールドを 拓くPTCA
すべての教科が専用教室を持ち、生徒が移動して授業を受けます。専用教室の周囲にはメディアセンターを整備し、各教科の学習にふさわしい環境を整えています。	異学年縦断的集団を本校では「スクエア」と名付けています。生徒会行事のスクエアタイム、SDGsをテーマにしたスクエア総合に取り組み、生徒の主体性・自己有用感を高めています。	毎年11月に自主研究発表会を行っています。平成20年度からは福井大学教職大学院拠点校となっており、現職教員が大学で学び、成果を本校の教育活動にフィードバックしています。	各教科の学習目標や学習内容・評価方法等を示した「学習ナビ」を活用し、個々の達成状況を確認します。通知表は、教科担任と生徒との面談を行ってから保護者に通知します。	校章で表現されるように、生徒、教師、保護者と地域の四者がつながり、地域全体で生徒を育みます。 ※PTCA Parent（保護者） Teacher（教師） Community（地域） Association（会）

教育重点目標と取組内容・数値目標

➤ 確かな学力	➤ 豊かな人間性	➤ 健やかな体	➤ 家庭・地域との連携
○教科センター方式およびメディアセンターを活用した学習指導を充実させ、基礎基本の定着を図る。 ○個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ○生徒、教師が共に学びあう関係の醸成を図る。 ○読書活動を推進して読解力の向上を図り、豊かな心を育む。	○温かい人間関係を重視した生徒理解を進め、すべての生徒をすべての職員で指導する共同指導体制を充実させる。 ○スクエア・学年・学級への所属感や連帯意識を深め、様々な人との関わりから、仲間とともに成し遂げる喜びを実感する機会を設定する。 ○不登校やいじめ等の未然防止に努め、魅力ある学校づくりを推進する。	○体力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する。 ○安全教育を推進し、学校事故の防止を図る。 ○楽しい給食にするとともに、食育の推進を図る。 ○傷病についての理解を深め、健やかな心身の成長に努める。	○ネット利用のルールや情報モラル等のリテラシー育成のため、家庭・地域との連携を図る。 ○地域愛を高めるため、社会奉仕・ボランティア活動の推進、地域行事への参画を促進する。 ○一人一人の生徒理解を進めるために、家庭・地域、小学校との連携を深める。
◎授業や教材等をはじめ、主体的に学ぶ学習環境を整える。 ◎少人数による学び合いを大切にし、対話的な授業を行う。 ◎タブレット端末やデジタル教科書等を有効に活用した授業を行う。 ◎生徒の学習意欲を高められるよう、学校図書館運営の充実を図る。	◎生徒に寄り添い、あらゆる活動において生徒を支える生徒指導を行う。 ◎生徒が主体的に考え、判断し、行動するよう生徒会活動やスクエア活動を充実させ、魅力ある学校づくりを行う。 ○不登校やいじめ等の未然防止に向けて情報を共有し、組織的に対応する。	○生徒の体力や健康の実態を把握し、能力を高めるための運動に継続的に取り組む。 ○地域や保護者・関係機関と連携した講習会等を通して、安全に対する意識を高める。 ◎全職員で給食指導を行い、楽しい雰囲気での給食となるよう取り組む。	◎豊かな人間関係構築に資するSNS等の利用になるよう関係機関と連携し、家庭への啓発を図る。 ◎学年通信、ホームページ等で学校の様子を伝える。 ○チャレンジ21の活動を推進する。
○教科の専用教室やメディアセンターを活用し充実した学習ができたと感じる生徒 90% ○授業でタブレットを週3回以上使って学習していると答える生徒 90% ○友達との学び合いにより、学習が深まったと感じる生徒 90% ○生徒の年間読書冊数 15冊/人	○学校が楽しいと感じる生徒 80% ○みんなで一緒に何かをするのが楽しいと感じる生徒 80% ○スクエア活動で積極的に活動していると感じる生徒 90% ○先生は自分の行動を見てくれていると感じる生徒 90%	○体力テストや体育の授業に一生懸命取り組んだと感じる生徒 90% ○通学時だけでなく、普段から交通規則を守ることができた生徒 90% ○マナーを守り、楽しい給食の時間を過ごせた生徒 90%	○学校からの便りやホームページ等で学校の様子がよく伝わると感じる保護者 90% ○望ましい情報モラルについて家庭で話し合っていると答える生徒 80% ○チャレンジ21の活動に参加した生徒数 1,500人

業務改善・教員の適正な勤務時間のための取組

学校行事の見直し(生徒に任せ一歩手を引く) 教育活動・校務の効率化(ICTを活用する)

チーム南中 すべての生徒をすべての保護者・教職員・地域で見守る 心あたった丸岡南中学校
 創立 20 周年